

具志川市史

第五卷

戦時記録  
戦争編

# 目次

題字 比嘉恒吉

口絵

発刊のことば

具志川市教育委員会教育長

名嘉山 兼宏

市史第五卷戦争編の刊行にあたって

具志川市史編さん委員会委員長

比嘉 恒吉

発刊に寄せて

具志川市長

知念 恒男

凡例

目次

# 第一編 戦争の近代日本と沖縄

第一章	戦争に巻き込まれてゆく沖縄	5
第一節	明治政府の膨張主義と琉球処分	5
一	「台湾出兵」と「琉球処分」	7
二	軍隊の沖縄配備にみる琉球の対応	9
三	明治国家の立役者がみた軍事上の沖縄の位置	11
四	皇国臣民化教育・御真影・教育勅語と具志川	13
第二節	十五年戦争に至る日本の大陸侵攻	16
一	日清戦争の前兆	16
二	日清戦争	17
三	義和団事件・北清事変	21
四	日露戦争	22
五	韓国併合（日韓併合）	25
六	第一次世界大戦と対華二十一条	26
七	シベリア出兵	27
八	山東出兵	28
第三節	軍事化される沖縄と日本軍の沖縄県人観	29
一	国防方針・用兵綱領	29
二	第六師団の沖縄での軍事演習とそのシナリオ	32
三	日本軍部のみた徴兵忌避・沖縄県人観	34
四	徴兵忌避と具志川	39
第四節	十五年戦争開始前後と戦争体制の強化	43
一	満州事変の発生と軍国体制の強化	43
二	日中全面戦争とファシズム体制の強化	49
三	第二次世界大戦の勃発前後の内外情勢	55
第二章	移民地の戦争	61
第一節	移民地の概要	61

一	移民地と移民数	61
	フィリピン／南洋群島	
二	移民地でのくらし	67
三	南洋群島からの戦前引き揚げ	67
第二節	壊滅への序章 一 中国・満州へ	73
	ソ満国境へ／満州事変勃発／ノモンハン事件	
	日中戦争勃発／再招集兵喜久山源太郎／日本軍の蛮行	
	占領地の拡大／輜重兵仲松徳三／補充兵島袋豊蔵	
	さまざまな作戦／第六師団の転出／島袋正幸の出征	
	機関銃隊仲松弥盛／タイへ進駐した久田通一	
	中国大陸打通作戦／輜重兵銘苅盛永／野戦重砲隊久田通正	
	御者班當銘三郎／ラッパ手／船舶工兵新垣久正	
	幹部候補生友寄英光／野砲隊高江秀信／拘留・強制労働	
	帰還／残留孤児喜屋武豊子	
第三節	中国から南方へ 一 「墓」島の第六師団	102
	中部具志川村出身戦没者と六師団／上海集結	
	パラオ上陸／船団編成／ブーゲンビルへ	
	ブーゲンビル島概観／宿营地造営／部隊配置／農園開拓	
	山本五十六大将の死／敵機の来襲	
	ソロモンに於ける戦鬪推移／新作戦計画の決定	
	米軍、ブーゲンビル島上陸／第二次タロキナ作戦	
	飢餓地獄／行方不明者の続出／人肉食事件	
	先住民達の離反／豪州軍の上陸／投降呼びかけ／ピラ投下	
	無条件降伏・武装解除／日本軍収容所／捕虜収容所の生活	
	引き揚げ／故郷へ	
第四節	南洋庁壊滅 一 パラオ篇	122
	兵士の出迎え／パラオ諸島概観／決勝新年風景／敵襲然哉	
	防空強化計画／敵機来襲／第十四師団の上陸	
	疎開・引き揚げ／パラオ本島・バベルダオブ／招集・応召	
	軍事施設の被災／退避勧告／連日連夜の空襲／部隊配属	

米軍・ペリリューに上陸／米軍・アンガウルに上陸	
パラオ本島を襲撃／現地自活態勢／島民指導要綱	
逼迫する食糧事情／敗戦後の混乱／敗戦処理／引き揚げ	
空襲の日々 一 ポナペ篇一	149
ポナペへ／ポナペ島概観／陸軍部隊進出前の状況	
陸軍部隊の移動・駐留／ポナペへの上陸部隊	
ポナペの守備計画／空襲の日々／コロニヤ町全焼	
婦女子引き揚げ／ポナペ島第一次対空戦闘	
ポナペ島第二次対空戦闘／現地応召発令／食糧増産計画	
移住訓練／降伏調印／引き揚げ／収容所	
ポナペ島関係資料	

第六節 軍民一体の末路 一 サイパン・テニアン篇一	172
一 サイパンの戦い	172
第四十三師団第一次輸送部隊の上陸	
徴用、勤労奉仕、学校、住宅などの接收	
サイパン陸上部隊の増強終了と防衛体制／サイパン島概況	
空襲／召集令発令／米軍上陸開始／夜襲／ヒナシスの丘	
アスリート飛行場陥落／逃避行①／逃避行②／地獄谷	
バンザイ突撃／ゴンゴン／パナデル、マツピ岬	
占領宣言／収容所／引き揚げ	
二 テニアンの戦い	198
アメリカ郡の上陸／テニアン島概況	
テニアン島の戦闘準備／内地疎開／住宅徴用	
陣地構築／敵機来襲／退避／艦砲射撃始まる	
在郷軍人召集／米軍サイパンに上陸／サイパン陥落	
テニアンの防備態勢／上陸前夜／米軍テニアンに上陸	
夜襲／弾薬運び／撤退作成／ソンソン市街焼尽	
逃避行①／逃避行②／在留邦人の奮戦／最後の戦闘	
占領宣言／カロリナス／投降勧告／投降／収容所	
引き揚げ	

第七節 見捨てられた移住者たち一フィリピン・ダバオ篇	225
爆撃後各地の在留日本人の強制拉致、収容状況／フナ耕地	
在留邦人の分散収容／邦人救出／無血入城／生産隊編成	
勤労奉仕／新比島奉仕団の発足／飛行機献納	
フィリピン共和国の独立／徴用／現地徴兵検査／初空襲	
義勇軍／米軍レイテ湾に新入／神風特別攻撃隊出撃	
召集令発令／逃避行／米軍ダバオ市突入／饑餓	
避難所／投降ビラ／下山／収容所／引き揚げ／魂迎え	
収容所と移民地での戦没者状況	248
一 サイパンスツペ収容所の変遷	248
保護からスツペ収容所へ／旧キャンプ 初期の	
スツペ収容所／南側地域への拡大	
北側地域への拡大／民政府の移転と島民キャンプの移動	
朝鮮人キャンプの移動／学校・その他の施設の充実	
新キャンプ／引き揚げ	
二 移民地を含む国外における戦没者状況	262
戦没者総数／南洋群島／フィリピン／南方諸島	
中国／その他	

## 第二編 アジア太平洋戦争と日米最後の戦闘・沖縄戦

第一章 沖縄戦へいたるアジア太平洋戦争	273
第一節 アジア太平洋戦争とその背景	273
一 日本の帝国国防方針と米国の「オレンジ・プラン」	273
二 アジア太平洋戦争の開戦前夜	273
三 米英との戦争突入直前の動向	273
四 真珠湾攻撃から昭和十七年まで	273
五 戦局の大転換	273
六 昭和十八年以降の戦況と占領地での親日政権の樹立	273

第二節	決戦態勢下の国内・県内情勢	4284
一	国家総動員への最後の抵抗と生活統制	284
二	決戦態勢の強化と挙国一致体制	286
三	動員体制	288
四	決戦態勢下の沖縄	289
五	具志川村の動向	292
六	供出と満蒙開拓にみる「決戦生活」	293
第二章	第三十二軍の創設と沖縄戦への道	300
第一節	海の戦場化	300
一	「絶対国防圏」の確率と「不沈空母」化	301
二	第三十二軍の創設	302
三	MARINA沖海戦と第三十二軍の作戦変更	303
四	島嶼守備要領と牛島軍司令官の訓示	305
五	満州から朝鮮經由日本へ	307
六	危険水域の沖縄へ	309
七	十・十空襲の前夜と「軍官民共生共死の一体化」の方針	113
八	戦場動員と「戦闘指針」	131
九	学徒の戦場動員	143
十	戦時行政から戦場行政へ	143
十一	米軍の沖縄攻略作戦	232
十二	国体護持と沖縄戦への突入	243
第二節	米軍の沖縄上陸と日米最後の地上戦闘	253
一	硫黄島の日本軍の壊滅	263
二	米軍上陸直前	273
三	米軍の慶良間諸島上陸と住民の惨劇	282
四	特攻隊と艦砲射撃	333
五	米軍の沖縄本島上陸	336
六	南下する米軍と回避された沖縄決戦	339
七	戦闘突入時の沖縄県論告	340

第三章	沖縄戦にみる具志川	375
第一節	沖縄戦に向かう具志川村民一証言をとおして	375
一	出征兵士・見送り・千人針	703
二	軍事訓練	703
三	竹槍訓練・爆弾投下対策訓練	793
四	日本軍部隊の駐屯と住民との係わり	793
五	臨戦態勢下の学校生活	1381
六	学校などでの防空壕掘り	1381
七	具志川での日本軍陣地構築	385
八	徴用	385
九	供出	387
十	十・十空襲	389
十一	山原疎開と村内外避難	393
第二節	『防衛庁資料』にみる具志川一日本軍の駐屯と陣地構築	1241
一	「防衛庁資料」とは	1241
二	沖縄への日本軍配備	144
三	『防衛庁資料』にみる日本軍	144
四	『防衛庁資料』にみられる具志川	144
八	具志川方面の日本軍の動向	484
九	日本軍の特攻機と戦艦大和に対する米軍の猛攻	484
十	沖縄本島中部・首里戦線	493
十一	陸上戦闘下の島田知事訓示一決戦行政	493
十二	浦添・首里戦線と五月四日の総反撃作戦	533
十三	離島戦線・沖縄戦の縮図一伊江島の戦闘一	533
十四	南部戦線	635
十五	大本営による沖縄戦の見方	635
十六	戦前・戦中・戦後が混在した沖縄戦と九月七日の降伏式	703
十七	沖縄戦体験の類型	703

第四章	具志川住民の「強制集団死」・「強制死」事件	429
	本章の用語の解説／集団自決・玉碎と強制集団死・強制死	
第一節	具志川グスク強制集団死事件	432
一	米軍上陸前空襲開始と日本軍と住民の状況	432
二	住民に対する集団死の命令と「郷土部隊」的集団の形成	438
第二節	「郷土部隊」的集団の行動	440
一	グスク陣地壕における日本兵の存在と米軍の接近で緊迫	441
二	隣村・勝連村皇土防衛義勇隊と義勇隊警防団との出会い	444
三	連行されていく家族を撃つ死を覚悟	445
第三節	具志川グスク事件の発生	448
一	爆発の瞬間	448
二	事件直後の惨状	452
三	米軍に保護されて	454
四	グスク事件生存者の収容所	458
第四節	具志川グスク事件の生存者の心情	461
一	グスク事件で住民を救出した米兵の証言と手紙	461
二	バードさんの手紙	463
第五章	具志川からの学童疎開・一般疎開	465
第一節	県外への疎開の概要	465
第二節	村内からの学童疎開の概要	469
第三節	具志川国民学校	471
一	第一次疎開	471
疎開前の状況／疎開への出発／対馬丸遭難		
疎開地・日奈久／疎開児童と満蒙開拓青少年義勇軍		
再疎開・上松求麻第二国民学校へ／帰還		
二	第二次疎開	485
疎開へのいきさつ／出発／疎開地・湯浦		
疎開児童と中国内戦／再疎開・古石国民学校へ／帰還		
第四節	天願国民学校	494

戦時下の学校／学校への日本軍の駐屯／疎開へのいきさつ		
疎開へのそれぞれの事情／学童疎開者の内訳／疎開準備		
安全祈願／疎開へ／鹿児島入港／疎開地・直見村		
疎開地の概況／宿舍・専念寺／学校生活／空腹と寒さ		
地元の親切／一般疎開家族の引き取り／卒業後の生活		
安慶名スミ子さんの訃報／河内倶楽部へ移動／引き揚げ		
七年後の引き揚げ		
第五節	仲喜洲国民学校	519
疎開前の学校の様子／軍靴の足音近づく		
疎開団編成のいきさつ／疎開団の編成／支度／学校出発		
乗船／出港・停泊／鹿児島上陸／疎開地へ		
疎開生活の始まり／十・十空襲／海が見たい／学校生活		
空襲／勤労奉仕／兵隊検査／飯場から正蓮寺へ		
つらい疎開生活／飢え／一回目の卒業生／終戦		
二回目の卒業生／引き揚げ／帰還		
第六節	具志川村民の一般疎開	546
一	一般疎開に対する県の取り組み	546
県外転出実施要綱／「引き揚げ」命令で混乱		
縁故疎開と無縁故疎開		
二	具志川からの県外疎開者	552
出航／対馬丸への乗船と犠牲者／字ごとの疎開家族		
疎開先での生活／受入地／延岡空襲／復員者と夜警団		
引き揚げ		
第三編	具志川村の戦争状況	571
1	上江洲	571
概要		
臨戦態勢下の上江洲		
徴兵検査と出征／軍事訓練／民家への分宿／日本軍と住民		

4	田場	635
3	具志川	613
	概要	
	臨戦態勢下の大田	
	出征／日本軍の駐屯／大田砲台／軍事訓練／供出／徴用	
	戦車壕／学徒兵と救護班／学童疎開と一般疎開	
	戦時中の大田	
	上陸空襲と山原避難	
	戦後の大田	
	収容所生活	
	臨戦態勢下の字具志川	
	出征／軍事訓練と奉仕作業／日本軍の駐屯と陣地構築	
	供出／徴用／大砲陣地／戦車妨害／学童疎開	
	戦時中の字具志川	
	十・十空襲／防空壕／農兵隊／護郷隊／防衛隊／救護班	
	住民の動き／上陸空襲と避難／グスク事件	
	戦後の字具志川	
	収容所／帰還／戦後復興	
2	大田	597
	概要	
	臨戦態勢下の大田	
	出征／日本軍の駐屯／大田砲台／軍事訓練／供出／徴用	
	戦車壕／学徒兵と救護班／学童疎開と一般疎開	
	戦時中の大田	
	上陸空襲と山原避難	
	戦後の大田	
	収容所生活	
	臨戦態勢下の字具志川	
	出征／軍事訓練と奉仕作業／日本軍の駐屯と陣地構築	
	供出／徴用／大砲陣地／戦車妨害／学童疎開	
	戦時中の字具志川	
	十・十空襲／防空壕／農兵隊／護郷隊／防衛隊／救護班	
	住民の動き／上陸空襲と避難／グスク事件	
	戦後の字具志川	
	収容所／帰還／戦後復興	

6	宇堅	673
	概要	
	臨戦態勢下の宇堅	
	出征／供出・徴用／学童や青年団の教練	
	青年団活動と住民の動き／日本軍の駐屯	
	戦時中の宇堅	
	十月空襲の機銃掃射／空襲後における陣地構築作戦	
	宇堅築城計画／住民総出の陣地構築	
5	赤野	657
	概要	
	臨戦態勢下の赤野	
	徴兵検査と出征（招集）／軍事訓練／供出／徴用	
	防衛召集／軍馬の調達	
	戦時中の赤野	
	山原疎開／山原避難／横田英の避難体験	
	村内避難と保護状況	
	戦後の赤野	
	戦後復興	
	戦後の田場	
	概要	
	臨戦態勢下の田場	
	徴兵検査と徴兵忌避／出征状況／軍事訓練／軍隊の駐屯	
	戦車壕／学童疎開と一般疎開／徴用／供出	
	戦時中の田場	
	十月空襲／警防団と青年団／防空壕・陣地壕	
	米軍の上陸と避難／田場橋の爆破／山原避難	
	保護されたときの状況	
	戦後の田場	
	惨劇／収容所生活／戦後復興とムラへの帰還	

県内外への出征と防衛隊召集／上陸直前の宇堅  
 山原疎開と避難／荒吹のガマへ避難／浜組の避難  
 住民の保護と強制移動／移動・収容  
 戦後の宇堅  
 戦後への長い道のり

7 天願・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・699

概要

臨戦態勢下の天願

日本軍と住民／壕掘りと軍事訓練／天願橋／奉仕作業  
 徴用／学童疎開と一般疎開

戦時中の天願

十・十空襲／山原疎開／山原避難／字内避難  
 保護されたときの状況

戦後の天願

移動と収容所生活／百軒部落の創設

8 昆布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・719

概要

臨戦態勢下の昆布

海外・県外への出征／日の丸奉仕作業／日本軍の駐屯  
 供出の割り当て／青年団と徴用／県外疎開

戦時中の昆布

十・十空襲／上陸空襲／出征・防衛隊／軍人の車から脱走  
 字内の避難／山原避難／投降呼びかけ／家屋の焼却  
 保護と収容経路

戦後の昆布

海外からの引き揚げ／収容所から字へ／青年会の結成  
 四方を米軍基地に囲まれ

9 栄野比・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・743

概要

臨戦態勢下の栄野比

軍事訓練／日本軍・山部隊の駐屯／山部隊の陣地構築  
 供出

戦時中の栄野比

十・十空襲／防空壕造り／防衛隊／上陸空襲  
 長尾山への避難・保護・捕虜・収容／  
 山原への避難・保護・捕虜・収容

戦後の栄野比

米軍政府／米軍施設建設／住民の帰還／  
 ラジオ放送AKARの開局

10 川崎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・759

概要

臨戦態勢下の川崎

出征の状況／軍事訓練／供出と徴用／日本軍の様子  
 戦時中の川崎

十・十空襲／上陸前空襲と山原疎開、避難／保護の様子

戦後の川崎

保護後の住民の動向／字の様子／フィリピン人部隊  
 部隊前と基地

11 西原・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・779

概要

臨戦態勢下の西原

十五年戦争以前の出征の記録／出征の状況  
 徴兵検査と徴兵忌避／兵事係の仕事／軍事訓練  
 徴用と供出／日本軍の駐屯

戦時中の西原



戦後の西原  
十・十空襲／上陸前空襲／山原避難／保護・收容

保護・收容後の住民の動向／字の様子  
フィリピン人部隊

12 安慶名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 803

概要

臨戦態勢下の安慶名

出征状況／軍事訓練・警防団／奉仕作業／軍隊の駐屯  
供出／徴用／防空壕・戦車壕掘り／防衛隊召集／疎開

戦時中の安慶名

十・十空襲／山原疎開／上陸區區集と山原避難  
字内避難／保護されたときの状況

戦後の安慶名

收容所生活／戦後生活のスタート／ムラへの帰還

13 平良川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 827

概要

臨戦態勢下の平良川

出征と千人針／軍事訓練（警報・灯火管制）／  
軍事訓練（消火訓練・竹槍訓練）／本土徴用／圈内徴用  
八重山徴用／学童疎開と一般疎開／第八十九連隊の駐屯

学童たちの学校生活／一般住民と山部隊

戦時中の平良川

十・十空襲／防空壕構築／字の共同壕／山原疎開／  
上陸空襲／住民の避難状況／住民の保護／收容所／

山原での避難生活

戦後の平良川

避難民收容所での生活／作業／收容所の移動／  
それぞれの居住地へ／字の復興・戦後の平良川の状況／

住民の生活

14 上平良川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 851

概要

臨戦態勢下の上平良川

出征状況／軍事訓練／学童疎開と一般疎開／徴用／供出／  
兵隊の駐屯／国防婦人会と赤札

戦時中の上平良川

十・十空襲／避難壕／山原疎開／上陸空襲／  
米軍上陸直前に山原避難した人々の收容

戦後の上平良川

松原生活／收容所での作業／上平良川への移動

15 喜仲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 869

概要

臨戦態勢下の喜仲

徴兵検査と出征／千人針／軍事訓練／日本軍の駐屯

戦時中の喜仲

十・十空襲／住民の避難と收容

戦後の喜仲  
占領軍の駐留と事件／收容所の移動／字への帰還

16 兼箇段・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 883

概要

臨戦態勢下の兼箇段

戦時中の兼箇段

戦後の兼箇段

17 米原・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 901

概要

臨戦態勢下の米原

奉仕活動／警防団と防空訓練／日本軍の駐屯／

供出と徴用／防空壕／学童疎開と一般疎開

戦時中の米原

十・十空襲／山原へ疎開／上陸空襲と避難／

山原へ避難した人々の収容／防衛隊の解散

戦後の米原

収容所の移動／字の復興へ

18 赤道・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 915

概要

臨戦態勢下の赤道

出征状況／徴用作業と供出／

警防団と青年会活動、国防婦人会

戦時中の赤道

十・十空襲／避難壕／防衛隊召集／上陸空襲／

米軍上陸直後の山原避難／

字内の自家壕や墓で保護された人々／赤道の一時収容所／

幸地ヤスの証言

戦後の赤道

19 宮里・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 929

概要

臨戦態勢下の宮里

出征／徴用と防衛隊／宮里分教場／軍事訓練／

日本軍の駐屯／山部隊の陣地構築

戦時中の宮里

20 山原への疎開／米軍の上陸／住民の避難／  
米軍の投降呼びかけ

戦後の宮里

住民の収容経路／下原の収容所／

復興活動（元字への移動と復興）

20 江洲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 945

概要

臨戦態勢下の江洲

供出／軍事訓練／徴用・防衛隊／日本軍の駐屯

戦時中の江洲

十・十空襲と山部隊／山原への疎開／米軍江洲への進攻／

米軍の住民収容／収容所への移動

戦後の江洲

収容所での生活／戦後復興

21 高江洲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 961

概要

臨戦態勢下の高江洲

軍事訓練／供出と国防婦人会／山部隊の駐屯

戦時中の高江洲

防空壕造り／山原への疎開／疎開先での生活／

米軍の高江洲への進攻

戦後の高江洲

高江洲市の誕生／住民の帰郷／高江洲区（四区）の誕生／

収容所の閉鎖／高江洲公民館資料／古里虔治村長の任命

22 志林川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 975

概要

臨戦態勢下の志林川

23

前原 . . . . . 989

概要

臨戦態勢下の前原

軍事訓練／出征兵士と千人針／徴用／日本軍の駐屯／  
タカムヤーの高射砲陣地壕

戦時中の前原

陣地壕・銃眼・銃座の完成／仲喜洲国民学校の避難壕／  
山原への疎開／米軍の進攻

戦後の前原

前原収容所／収容所での生活

供出／馬車徴用／軍事訓練（竹槍・防火訓練）／  
国防婦人会／軍需工場へ／共同防空壕／出征状況／  
崎原盛孝の体験／和宇慶朝彦の体験／和宇慶朝安の体験

戦時中の志林川

住民の避難状況

戦後の志林川

復興作業の状況

24

豊原 . . . . . 1003

概要

臨戦態勢下の豊原

軍事訓練／出征する兵士と千人針／徴用と陣地構築

戦時中の豊原

山原への避難／米軍の豊原への進攻

戦後の豊原

豊原収容所／豊原への帰還／前原市長選挙／  
高江洲収容所一区く五区の時代／豊原の誕生／分離祝賀会

25

塩屋 . . . . . 1017

概要

臨戦態勢下の塩屋

供出／防波堤の銃眼／転写壕／  
米軍が作製した日本軍防衛図／竹槍訓練／防火訓練

戦時中の塩屋

徴用と十・十區區集／山原への疎開／  
マヤーガマへの避難

戦後の塩屋

避難民がいつぱい／配給所／塩屋区の復活／分離祝賀会

26

川田 . . . . . 1029

概要

臨戦態勢下の川田

防波堤の銃眼／野戦砲陣地／大田砲台／軍事訓練

戦時中の川田

十月空襲と防衛隊への召集／上陸前の空襲被害／  
米軍の進攻／川田坂の杭打ち／与那原住民の強制移動

戦後の川田

南風原収容所／カミエスの活躍／与那原の復帰／  
川田の復興／中央倉庫／前原警察署／川田の復活

統計にみる具志川の戦災状況 . . . . . 1043

一 戦没者状況 . . . . . 1044

二 生存者保護、収容の状況 . . . . . 1062

三 家屋などの損壊 . . . . . 1081

## 第四編 具志川の戦後復興

第一章 戦後収容所からの復興	1087
第一節 米軍の具志川への進攻	1087
第二節 村民の避難	1089
一 米軍上陸前の山原疎開	1089
二 米軍上陸後の避難	1095
三 村内に留まった人たち	1097
第二章 高江洲市誕生	1099
第一節 高江洲市の誕生	1099
第二節 収容所の生活	1100
一 自分の家に入れなかった地元民	1100
二 規制	1101
三 奉仕作業	1102
四 作業の無断欠勤	1104
五 配給	1106
六 学校教育	1107
第三節 沖縄諮詢会の設置	1108

一 八月十五日終戦の日	1108
二 沖縄諮詢会と志喜屋孝信	1109
第三章 前原市の誕生	1112
第一節 前原市と平安座市	1112
一 前原市誕生	1112
二 南風原収容所	1113
第二節 市会議員選挙と市長選挙	1115
一 諮詢会と市会議員選挙	1115
二 前原市長に當銘由伸氏当選	1116
第三節 前原市の機構	1117
第四節 全島十二市の市長	1119
第五節 南風原区有権者名簿	1120
第四章 字の戦後復興	1121
第一節 戦前の居住地への復帰	1121
一 米軍の復帰計画	1121
二 戦前の居住地への移動	1123
第二節 前原市からの移動	1124
第三節 前原市内の移動	1125

一字の復興	1125
二 先遣隊の活躍	1126
三 各字の先遣隊	1127
四 高江洲公民館資料にみる各字の復興	1128
五 金武湾の誕生	1131
六 沖繩の首都「具志川」	1132
第五章 戦後具志川村の誕生	1133
第一節 天願朝行村長の任命	1133
第二節 村政の機構	1134
一 金武湾への役場移転	1134
二 村政委員会と地方長	1135
三 天願村長の辞任	1136
第三節 戦後高等教育発祥の地	1137
第六章 米軍基地建設と労務宿舍	1138
第一節 具志川村内の労務カンパン	1138
軍作業員／軍作業に関する資料／労務カンパンの設置／具志川村内のカンパン	
第二節 山天願	1144

占拠された字天願／先発隊／チリ捨て場	
「山天願」の地名発祥と行政区	
第三節 宇堅六三〇部隊	1148
宇堅に入った一般住民／配置／編成と組織／技術部隊／宇堅出身者は「除外」／憧れのドライバー／作業／川崎初等学校・宇堅分校／六三〇野球チーム／戦後の政財界人／六三〇部隊の終息と宇堅の戦後	
第四節 百軒部落	1159
設営班／「QM天願」別名「百軒部落」／「百軒部落」に入居した天願住民／農園部／ブレッジパス／獅子の復元／二行政区統合	
第五節 QMカンパン	1165
創設／組織／QM労務／ウーメンカンパン／戦果／養豚部／娯楽／カンパン商売／QMカンパンの解放	
第六節 Bカンパン	1172
設置／組織と施設／炊事／労務者／Bカンパンの閉鎖	
第七節 戦後発祥の「金武湾集落」	1178
先遣隊／金武湾区／班の成り立ち／金武湾初等学校の設立／港湾労務／多彩な人材／金武湾のにぎわい／道上の幕舎／金武湾の経済と移動	

第七章	具志川における米軍基地	1187
第一節	具志川の基地の変遷	1187
第二節	駐留軍人による事件・事故	1195

索引

執筆者一覧

編集後記

市史編さん委員会・小委員会・事務局

具志川市史 第五卷

戦争編  
戦争記録

平成十七年三月十五日 印刷  
平成十七年三月三十一日 発行

編集 具志川市史編さん委員会

発行 具志川市教育委員会

沖縄県具志川市みどり町一―一―一  
電話 ○九八(九七四)三二一―一

印刷

有限会社サン印刷  
沖縄県島尻郡南風原町字兼城五七七  
電話 ○九八(八八九)三六七九

具志川市史

第五卷

戦戦  
時争  
体争  
験  
I 編









西原

古謝 振裕・カマド  
 又吉カマド  
 幸喜 世順  
 翁長 維行  
 伊野波ユキ子

401396394391387

安慶名

新垣 彩  
 真栄平ツル  
 目取真永豊  
 兼城 英真

425416412409

平良川

照屋 ツル  
 宇地原ツル  
 宇地原光子  
 宇地原徳淳  
 幸喜 豊子  
 又吉 とみ子  
 瑞慶覧長昇  
 瑞慶覧初枝  
 仲座 方林

437433

上平良川

名嘉真宜野剛・美津子  
 名嘉真トミ

477473

金城

喜納 千代  
 玉栄 ハツ  
 島袋 初枝  
 島袋 千代

489485482480

喜仲

島袋松太郎  
 金城 良子  
 徳田 健盛  
 比嘉 フミ  
 崎原 盛栄

512 507503499

兼箇段

金城 栄吉・秀  
 島袋 正幸・スミ  
 上江洲一雄  
 伊芸 トヨ  
 田場 盛市  
 宮里 盛光  
 島袋 健

557554548545534528521

米原

和宇慶朝伝  
 和宇慶マツ子  
 小谷 良治  
 和宇慶朝計

582576572567

和宇慶キク . . . . . 586  
 小谷 好子

赤道

久田 友光・マカト . . . . . 593  
 大城 千代 . . . . . 596  
 山城 賢保・君子 . . . . . 598  
 久田須美子 . . . . . 602  
 銘苧 常盛 . . . . . 616  
 宮里 朝昌・静子 . . . . . 626  
 幸地 ヤス . . . . . 681  
 宮里 憲勇 . . . . . 861  
 与儀千代子 . . . . . 1160  
 大城 マツ . . . . . 1607  
 志喜屋初子 . . . . . 2262  
 平良 良夫 . . . . . 2462

宮里

高江洲松助 . . . . . 641  
 高江洲倫裕 . . . . .  
 仲里 トヨ . . . . .  
 山城 えみ . . . . .  
 又吉 永哲 . . . . .  
 宮城 節子 . . . . .  
 桑江 タケ . . . . .  
 比屋根ヒロ . . . . .  
 仲里 弘昌 . . . . .  
 島袋 キヨ . . . . .

島袋都美子 . . . . . 671

江洲

宮城 清光 . . . . . 679  
 仲松 徳三 . . . . . 684  
 仲松 恵美 . . . . . 686  
 神田 好子 . . . . . 693  
 東恩納善弘 . . . . . 696  
 宮城 信盛 . . . . . 707  
 福田 文子 . . . . . 710

高江洲

喜屋武カマド . . . . . 719  
 徳森 悦 . . . . . 227  
 喜屋武梅子 . . . . . 273  
 島袋 トヨ . . . . . 327  
 上江洲春子 . . . . . 357  
 儀保 盛一 . . . . . 373  
 目取真シグ子 . . . . . 437  
 中村 正子 . . . . . 477  
 喜屋武清松 . . . . . 557

志林川

島袋 ウシ . . . . . 761  
 糸洲 清子 . . . . .  
 譜久山豊子 . . . . .  
 新里 紹順 . . . . . 768



具志川市史

第五卷

戦争編  
戦時体験 I

平成十七年三月十五日 印刷  
平成十七年三月三十一日 発行

編集 具志川市史編さん委員会

発行 具志川市教育委員会  
沖縄県具志川市みどり町一―一―

電話 〇九八(九七四)三二―一―

印刷 有限会社サン印刷

沖縄県島尻郡南風原町字兼城五七七  
電話 〇九八(八八九)三六七九

具志川市史

第五卷

戦時体験  
戦争編  
II



# 目次

口 絵

目次 . . . . . 一〇九  
 収録目次 . . . . . 一

中国・シベリア	. . . . .	一
ブーゲンビル島	. . . . .	七五
フィリピン	. . . . .	一三
南洋群島 サイパン島	. . . . .	一四一
南洋群島 テニアン島	. . . . .	二三九
南洋群島 ポナペ島	. . . . .	二九一
南洋群島 パラオ諸島	. . . . .	三〇七
南洋群島 その他	. . . . .	三三五
朝鮮	. . . . .	三七七
海南島	. . . . .	三九五
台湾	. . . . .	四二三
ハワイ・ブラジル	. . . . .	四三七
県外	. . . . .	四五一
学童疎開		
具志川国民学校 第一次	. . . . .	四九五
具志川国民学校 第二次	. . . . .	五八七
天願国民学校	. . . . .	六四七
仲喜洲国民学校	. . . . .	七三一
補注	. . . . .	八一三
調査員および調査協力者	. . . . .	八二三
索引	. . . . .	八二三

収録目次

中国・シベリア	我謝龜次郎	西原	2
	神田 太郎	宮里	8
	銘苅 盛永	赤道	13
	諸見里安次郎	江洲	18
	栄野川盛安	喜屋武	26
	安慶名正信	具志川	32
	赤嶺 昌盛	田場	37
	當銘 三郎	前原	46
	友寄 英光	米原	53
	高江 秀信	具志川	61
	新垣 久正	宮里	67
ブーゲンビル島			
	島袋 豊蔵	高江洲	76
	具志堅兆三	田場	84
	亀谷 堪仁	兼箇段	91
	前堂 盛徳	昆布	96
	喜納 三郎	赤野	101
	石川信次郎	天願	108
フィリピン			
	幸地 長弘	喜屋武	114
	又吉 マツ	宮里	122
	翁長 永光	西原	128
	和宇慶朝三郎	米原	134

南洋諸島 サイパン島	又吉 永徳	宮里	143
	阿嘉 良明	兼箇段	154
	屋宜 光徳	西原	165
	照屋 寛得	豊原	171
	照屋 ナヘ	兼箇段	177
	仲西 智徳	昆布	182
	天願 キヨ	具志川	189
	澤岬 弘	上江洲	199
	中山盛寛・トヨ子	田場	203
	謝花 キヨ	栄野比	217
	喜久山徳栄	豊原	222
	和宇慶トミ子	米原	232
	小谷シズ子	米原	232
	宮城ヨシ子	栄野比	232
	諸見里安得・秋子	江洲	232
	津波古春子	豊原	232
	山口 静子	豊原	232
	稲福 盛喜	兼箇段	230
南洋群島 テニアン島			
	金城 盛諄	喜屋武	241
	上江洲安雄・マツ	上江洲	248
	普天間盛助・ツル	具志川	253
	川野 栄昌	具志川	260
	瑞慶覧長喜・美代	平良川	266
	金城 盛徳	昆布	270
	新垣孝次郎	田場	277
	仲村渠安一	兼箇段	281
	大嶺 自信	栄野比	285







具志川市史 第五卷

戦争編  
戦時体験Ⅱ

平成十七年三月十五日 印刷  
平成十七年三月三十一日 発行

編集 具志川市史編さん委員会

発行 具志川市教育委員会

沖縄県具志川市みどり町一―一―一  
電話 ○九八(九七四)三二―一―一

印刷 有限会社サン印刷

沖縄県島尻郡南風原町字兼城五七七  
電話 ○九八(八八九)三六七九